

<人吉市（人吉東・西校区）／住民>

日 時：令和2年10月24日（土）15時15分～17時45分

会 場：球磨地域振興局2階大会議室

参加者：44名

【発言者①】

〇〇です。これから一番の問題は、やはり人吉がこれからどう復興していくかということが一番の問題ではないかと思えます。

ということでやはり観光と農業、人吉は大体この二つを進めてこられたと思うんですけども、やはり観光じゃないと、これからの農業に利水が一番問題になると思うんですけども、球磨郡のほうで村長さんやら町長さんが一生懸命進めておられますけれども、あれはかなり利水を目的にされた要望ではないかと思っております。利水にした場合には、かなり川辺川の水は減りまして、さらに、かなり私は鮎掛けしておりましたので、下はヘドロがいっぱい、球磨川のほうは溜まります。

ということで、上のほうは温泉のような水になりますし、下のほうは冷たく、夏の水はそういう感じになりまして、やはり下のほうのダムを見ますと、赤潮も、これは荒瀬ダムはなくなりましたけれども、荒瀬ダムにしろ瀬戸石ダムにしろあそこは温泉が、坂本温泉とか、上の吉尾温泉ですか、あそこの出口あたりはかなり赤潮が発生をしておりました。

そういうことで見ておりますので、そういうことでやはり観光に対する影響が一番大きいと思えますので、これがどう生きるかということで、やはり一度問題になっておりましたけれども、よその地区で穴あきダムといいますか、普段はどんどん水を流しておいて、大水のときだけ止めると。利水をやめるようなダムならば私は必要じゃないかと思っております。以上です。

【発言者②】

これだけの情報、前もってもらえれば整理できたと思うんですけど、15ページの川辺川ダムが存在した場合の水位のところの写真を見ましたときに、私の町内だけを考慮した場合には、ほぼ床下浸水で終わってしまうということからすると、町民にとって見ればそれだけで十分ありがたいなと思えますが、ダムありきがどうなのかということについては、今日、以前の情報ではダムがなくては困るんだという情報は本当じゃないんじゃないかという漠然とした認識でしたので、再度、これを皆さんのいろいろなご意見を聞きながら、私の町内自身にとって見れば、ダムがあったら床下浸水は、というぐらゐの情報で、ダムはぜひ作

ってほしいという問題ではないとは思いますが、ぜひこれから先、町内、町民が今の場所に再建をしたいときに、やはり二度と災害が起きないことを望めるようなことが、可能性がわかりさえすれば、町民も地元に残って生活ができるんじゃないかなという、思いをしました。以上です。

### 【発言者③】

北願成寺の〇〇と申します。私の町内は、世帯数約1,050、人口約2,500。大きな町内でございます。

今回の災害では、ちょっと川よりも高いところにあるために被害は一つもありませんでした。

ただ、現在はほかの町内から仮住まいで来ていらっしゃる方が50世帯ほどございます。その人たちのために今、一生懸命やっているところでございます。

今回、私はダムに絞ってちょっといいたいんですけれども、今回、球磨川がかさ上げしましたよね。2008年以降に、球磨村の球泉洞のところですよ。

あそこで2人流されました。姉妹の方が、あれはうちの家内の姉と妹だったんです。できたときに、かさ上げすればもう安全だということで、もう安心してあったんです。もう絶対被害に遭わないからと言われたそうです。かさ上げするときに。そして承諾したということでございました。

そういうことを考えるときに、災害というのは防げないことがあるということで、ダムを作っても防げないときが来ると私は思っております。

それとダムを作った場合に球磨川はどうなるかということ考えた場合に、人吉市はなくなるんじゃないかと考えております。

その理由は先ほどもありましたが、まず、観光。それから鮎の問題、それから川下り、ラフティング、それから高校生のカヌー、これらができなくなると思います。

それは市房ダムができたときに、あそこは32年から35年にかけてできておるんですが、最初からできるまで私は見ております。ちょうど中学校のときでしたから、ダムができた後はもう川が死んでしまいます。下流のほうは。ですから私はあんまり作ってほしくないなと、そう思っております。

それからもう一点。最後に、よく議員さんたちも住民の生命と財産を守るためといわれますけれども、その具体的な内容はなかなか出てこないです。この生命と財産を守るということは、生命は動きます。人間ですから。それと財産は、動産と不動産がございます。だから人間の移動については、私は無線のスピーカーを各家庭にぜひ作っていただきたい。長期にわたっても結構ですから、そうしないと即移動はできません。それと、早めの避難が大切じゃないかなと思っております。

それと財産にしては、問題は家、それから田畑です。それをどう被害から守っていくのかというのは、知恵を絞って考えていかなければならないなど、そのように思うところがございます。以上です。

【発言者④】

7月の雨の降り方というのは、雨樋が役目を果たさんような雨が降る。原因は温暖化ですけれども、処置などということは、少しでもやはり水位を下げないとうとうしようもない。

ここにも書いてあるように、かさ上げをする。水が流れやすくするというのは、一番大切なところだと思います。商店の人たちはあまり、町には帰りたくない。帰っても「また来年来るなら…」という考え方の方が大部分です。でも、やはり球磨川に寄り添っていたいという気持ちがあると思います。

一つは川が氾濫したとき、どう川から水を流すかということ、例えば、一階はみんな駐車場にしてしまうとか、そういうのはあるかなと思います。

被害者、ほとんどの人がもう世帯主になっておるんですけれども、水没した中心街で働いておられた方、その方もたくさんいらっしゃいまして、大部分が水害の掃除が終わったあとに解雇になっておられます。

なんとか、何の証明もないんです。その方々も、やはり同じ被災者であるということをつけ加えて終わります。

【発言者⑤】

私は市内の五日町に住んでいます。

もうすぐ70歳になるものですから、昭和40年の水害の増水のことでもまだ記憶には残っております。

あれに比べたら今度の増水といいますか。相当な雨が降って相当な被害が出ております。あれからもう3か月半も経つんですけれども、あとで紺屋町、十日町の〇〇さんも多分言うはずですが、町のなかには県知事も見ておられませんのでおわかりかと思っておりますけれども、ほとんどもう家は解体をせざるを得ない、解体しかないような状況になっておりまして、昼間も人がほとんど歩いておりません。今日も歩きましたが、もう解体の工事も進んでおりますけれども、この町は、人吉という町は球磨川があって、その市の中心部を中心として広がった町でございまして、最近では相当もう廃れてはきておりますけれども、まだまだ人吉球磨の中心、また人吉と市街地が中心でございまして、この町が解体してしまつて、何年後かにはもうほとんど駐車場といいますか、スペースだけになってしまうことを考えたら、もう本当ゾツとしております。

夜の町も真っ暗です。言い方は悪いんですけれども、今の状況は本当ゴースト

タウンと同じということで、一刻も早く、自助も必要ですけれども、国、県、市、それから支援が非常に大事だと思っております。やはり今後、復興、復興といながらも、やはりこの町に住み続けるためにはどうすべきかということを経後、一番に考えていってもらいたいと思っております。

人吉は観光の町でございますので、温泉、それから焼酎、鮎といわれますけれどもやはりこの町は球磨川を中心とした町でございますので、非常にきれいな川が流れておるわけですので、この球磨川が一つの大きな魅力でございますので、この美しい球磨川をどうにかして残して、そこを中心に人吉の町がまた発展していければなと思っております。

ダムのごとは詳しくはないんですけれども、ダムを作った場合、穴あきといながらも、やはりコンクリートで作ってしまえば、やはり水の流れは、滞留というか、止まるわけですので、そうなるともう球磨川の水は、濁っていくのかなというふうに心配をしております、個人的にはダムによらない、何か知識があればなと思っております。

最後に県知事にちょっと言いたいんですけれども、県知事が12、3年前にダムによらない治水というふうにおっしゃったんですけれども、いろんな手を尽くしてはおられたんですけれども、川を見ますと、まず河床がものすごく上がっております、ダム以外の何か方策はないかなと考えながらも、河床掘削はずっと続けていくべきだったんだろうなと私も思っております。地域の人に聞いても、「河床がな、河床がな」ということで、資料の理論の数字も大事なんですけれども、住んでいる人の長年の経験、体験、感覚も大事にしていってほしいということで、ダム、ダムじゃなくて、まずどうすべきかということで、県知事はスピードアップをしますとおっしゃったけれども、このところは、しっかりこういう場を含めていろんな方のご意見を聞いていただいて、拙速では絶対いけないと思っておりますので、今年中にとかおっしゃらずに、しっかり意見を聞いてやっていってほしいと思っております。以上です。

#### 【発言者⑥】

九日町の〇〇と申します。

今、うちの町内会のほうは、今となりの〇〇さんがいわれたように、ほとんど解体を待ってる状態です。戦後の焼け野原みたいになるんじゃないかなと。7割ぐらいは解体です。そこの住民の方はもう住みたくない。怖いと来年も来るんだというふうに言われてます。住所をよそに移す、そしてもう店舗も作らないという状態なものですから、町内として今後やっていけるかなというふうに考えております。

それと去年の球磨川と水害後の球磨川を見ていただければ、一緒なんです。土

砂の堆積がすごいです。

昔は、球磨川で我々が泳いでいたときは、全然背は立たなかったんですが、今は歩いて渡れます。それくらい球磨川の底が浅くなっております。その分、私は今度の水害は2階の棟ぐらいまで来たんじゃないかと思っております。

それと、水害のまず一つの原因はさっき言われたような、大量の雨、それと山田川が全部逆流しましたよね。市内のほうに入りましたので、川南とか、川北地区は水害の範囲がとても広がったんじゃないかと思っています。

ですからちょっと住民の方を安心させるためには、球磨川の土砂を取っていただいて、そして二度とこういう洪水は、多少降っても来ないですよというような安心感を貰わないと、町としてはやっていけないんじゃないかというふうに心配しております。以上でございます。

#### 【発言者⑦】

紺屋町の〇〇です。私の町内もちょうど中心市街地で、少し飲み屋が多い町になっております。

そこで、もう飲み屋さんも生活がかかっていますので開店して、販売をやられておりますけれども、とにかくこの町が暗いんです。電気がつかないものですから、街灯や防犯とか。

ただ、町内でつけた街灯、防犯灯も誰も住んどらんとに、周りに、住宅には住んどらんとに、九電のほうから請求がくるということで、なんとかならないかなということも考えて、町内のために、やはり知事に言うべきだろうなという感じがします。

この点はやはり電気料の配慮というんですか、その点をぜひ進めていただければ、九電に対してお願いしたいなというものがあります。

それだけ私はもう今までいろいろ言ってきましたけれども、今、町内での問題はその防犯灯が暗い、治安が悪くなってもいかん。そうするともう危ないということも重なってきますので、その点をぜひチャレンジしていただきたいと思えます。よろしく願います。

#### 【発言者⑧】

鍛冶屋町の〇〇でございます。私は、知事に2点だけ、申し上げたいと思いません。

今、皆さんの話を聞いていますと、治水だけ、それはもう本当に今度の水害では治水が非常に大事で、大変なことでございますけれども、一つ見落としておられるのが、人吉球磨郡は山間の、少し谷というか、少し平らなところに、町村やら市が、そこに存在しております。

それで、治山は雨が降ったら山が、非常に吸水力のある山を作っていたきたい。

なぜなら枝川、川辺川とか、球磨川に流れてくる枝川、支流といいますけれども、私たちは枝川といいますけれども、枝川には治山、それが砂防堰堤、いわば砂防ダムです。そういうものがところどころ作ってありますけれども、現在埋まってしまって治山の役目を果たしていないところが随分あります。

これはぜひ治山をもう一回見直していただいて、しっかりやってもらおうと、水量をそこで大分カットができると思います。

どうか治山のほうをもう一度見直して、しっかりと対策を立てていただきたいと思います。

それから、あと一点は、さっきもお話が出ましたけれども、川底の掘削です。

さっき九日町の〇〇さんが言いましたけれども、私はあの人よりちょっと歳が上ですが、球磨川は今の球磨川下りの発船場から向こう岸まで、私は小学生でも背が高いほうであったもんですから、まったく背が立たんかったんです。こっちから向こうまで行くのに泳いで渡ると一人前というような、そういうランク付けをしていただいておりましたけれども、今は膝小僧くらいで歩いていけません。

それだけやはり川底が上がってきているわけです。長年における砂利、堆積が、非常に1メートル以上、溜まっているじゃないかと思いますので、ぜひ川底の掘削をやっていただきたい。

なぜならば、球磨川下りも安全に下られない。それからラフティングも非常に危険を伴います。それから教育の体育の面ではカヌーです。今、全国で球磨工業高校は名を馳せています。そして今、人吉高校もどんどんと腕をあげて、お互いに競っておりますけれども、球磨川がこういうふうではカヌーも思うままに練習ができない。川底が昔のような川底になれば、高校生も頑張って、世界に轟くような名選手が出てくるものと私は信じております。どうかその点、よろしくお願いいたします。終わります。

#### 【発言者⑨】

新町の〇〇でございます。よろしく願いいたします。

皆様、立派なご意見をしていただきまして、大変ためになったと思います。

私は皆さんから見て、あまりよくない話だと思っておりますけれども、橋の件を一つお話しします。球磨川にかかっている橋は2、3本ぐらいしか残っておりません。というのはなぜかという雨量のせいです。

自然には絶対勝ちません。人間の力というのはもう僅かなもんです。

ですから、堤防をしていただいたり、あるいは川底が浅くなっております。こ

の前の市長の話を聞きますと、下からどンドン川底がというようなことですが、  
れども、人間の力というのは限度がありまして、そういうことは絶対できません。

それから橋がやられたと言いましたけれども、これはなんで橋がやられたかと申しますと、木の枝、あるいは大木が流れてきて、全部橋はやられてるんです。それがやはり一番大事な部分です。

というのは、やはり人間が外に出ていきまして、山の手入れをする人がいなくなりました。というのは、山の手入れをすることによって川はきれいになるんだと、そして海もきれいになるんだということは皆さんご存知のとおりです。

そういうことを念頭において山の手入れをすると、川底の泥を取ってもらうと、それから堤防は限度がありますから、必要なところは作っていただくというようなことでお願いしたいと思います。以上です。

#### 【発言者⑩】

私は田町という町内で、戸数約70戸、住民数は約180の小さな行政区に住んでおります〇〇です。

蒲島知事が川辺川ダム建設を白紙撤回されたという、偉大なレガシーを県政史に残されたというのは、非常に敬意を表している者の一人です。

今回の水害は球磨川の増水だけではなくて、多くの支流が時間のずれがほとんどないなかで、予想していないまさかの雨量、増水がもたらしたというふうに受け止めております。

災害後、3か月が過ぎました。ようやく一息できるようにはなったというふうに思っておりますけれども、従来の姿に近づくにはまだまだの状況です。どうしたらなんとかもとに近い生活ができるようになるのか、嘆く、悲観をしているというのが現状だと思います。

そんな被災者ばかりのなかに、ダム建設の話が出てきたというのは、びっくりしております。

まずはダム建設による治水ではないんじゃないか、被害実態の解明が先。

資料を基にここで説明をいただきました。ダムを作れば、こういうふうな流量になるというようなことも示されましたけれども、そんなにダムの能力は高いのかなというふうにこの数字に対しての信ぴょう性はそんなに高くはないんじゃないかなというふうな皮肉な目でも見ております。

今、やるべきこと、これから復旧に向けてやらねばならぬことは、ダム作りではないのではないかと考えております。

先ほどからもいろんな意見が出ているなかで、各戸への無線配置とか、それから掘削とか、そして安全な場所に避難場所を各地にきちんと作ると、やはりそういうようなことも強く求められているというふうに感じております。以上です。

【発言者⑪】

井ノ口の〇〇です。

今回の豪雨では井ノ口は大きな被害はなかったんですけども、支流の万江川のほうの氾濫で床下浸水がありました。

今、いろいろな意見が出ていますけれども、どんな治水対策をするにしても、人命を守るということを第一に考えてほしいということです。

それから川底掘削ですけれども、これは球磨川だけではなく、支流のほうも全部しないといけないんじゃないかと思います。というのも球磨川だけ掘っても、支流のほうの土砂がどんどん大雨の度にすぐ流れて埋まってしまうんじゃないかと思っています。以上です。

【発言者⑫】

瓦屋町の〇〇です。

私の町内は1, 100軒ほどで、2, 500人ほどおられますが、そのなかでも一番被害が少なかったと思っており、床下含めても50軒ほどだったと思います。

ただ、意見としては皆さんと一緒になんですけれども、ただやはり今言われたように、球磨川だけでなく、支流あたりの川底掘削です。それもやはり、やっていただければ少しでも被害が少なくなるんじゃないかと考えております。

また、ダムについては、もしダムを作られると県知事が判断したら、多目的ではなくて、要するに防ぐ、そういう方向でダム作りするならば考えていただきたいと思います。

それと緊急時の連絡で、無線等で放送されますけれども、雨音とかでほとんど聞こえないです。私たちが高校3年のとき、昭和40年の水害のときは、サイレンで緊急連絡されていて、サイレンがなるとやはり避難しなくちゃいけないというような気持ちがあります。そういうことも含めて、もう少し防災のほうを考えていただければと思っております。

あと、市内の被災された住民の方々が、早く元の生活に戻っていただくように、県に県営住宅を考えていただいて、住むところをまず確保していただければと思っておりますけれども、よろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。

【発言者⑬】

鶴田町の〇〇と申します。

私の町内は、まさか鶴田町まで水が上がってくるとは思っでなかつたんですけども、結局、被害としては35軒の床上浸水がありました。

支流の山田川と、球磨川、それは全て逆流して、鬼木川、山田川から両側からずっと浸水してきたわけなんですけれども、そういったことに被害があつております。

今回の治水問題で、町内会の役員会の席でも、ダムによる治水か現状での河床の掘り下げとか、そういったことを協議の話し合いはするんですけれども、なかなか半分半分の状態です。

要するに、被害的にも少なかつたし、それを見越したかたちでやっていくことができるかということもあるんですけれども、なにしろ住民とか人は、場所とか時間は選べないんです。それに関しては行政がしっかりした治水対策をやっていただければと思います。

人吉の場合は山紫水明。水清く山がきれいということで、それは美しい自然を守る、そういったことがあると思います。

そういったかたちで自然には人は勝てません。今まで言いましたとおり、人は時間、場所、選べませんので、それに対応したかたちを、行政の計画をよろしくお願いしたいと思います。

#### 【発言者⑭】

私は城本町内会の〇〇でございます。

この意見聴取会に参加を要請されまして、自分の知識があまりありません。

なぜならば私の地区は、人吉駅、肥薩線を越えた細長く、東西コミセンから城本方面の球磨工業近くに立地しております。そこまで今回の水害が襲ってきました。

私のところで1メートル30から40です。庭先で。ですので、これは命を左右する政策を決める聴取会ということでありますので、素直に、素朴に申し上げます。

そこで私は、住民一人一人に話を聞くことにしました。私の意見ではありません。みんなの意見です。

私の町内では私を含め100世帯以上が床上浸水し、そのうち50世帯が転出してしまいました。残った方、54世帯と話ぐできましたので、このダム問題について話を聞きました。51世帯の方が治水ダムの要望がありました。

私が行く時間というのは昼間ですので、かなり年寄りの方が多いです。

それをパーセンテージでいいますと、51世帯、54軒中51世帯ですから、94.4%がダムの要望をされました。

それはここに持ってきています。要望書というかたちで署名をいただきました。個人名です。

以前のように漠然と球磨川を自然の川に再生したいという感覚をいう人は、

誰一人みられませんでした。

自宅に足、腰、目の不自由な高齢者がたくさんいることを忘れないでください。その方たちは避難に時間がかかります。今回の災害によるストレスから、高齢者は災害前と比べるとかなり衰えが見られます。しかし、真剣な表情で防災面から治水ダムの要望を自筆で署名されました。

よく考えてみますと、災害時の川辺川は河川に流入する量と、放流する量が同じであり、ダムの操作に置き換えると、これがまさに緊急放流状態と同じです。

自然災害は、科学の限界で完全に防ぐことは不可能です。しかし、確実に時間は稼げます。

最後になりますが、仮設住宅に3世代5人でお住まいの高齢者からのお手紙をいただきました。「ご苦労様です。頑張ってください。人吉を助けてください。」ということでした。

別に緊急連絡の方法について提案があります。

今回のような大災害の避難の呼びかけに、今までの方法に加え、強力な赤のサーチライト、ビーム光線を雲に反射させ、耳の遠い人でもワンチャンスがもしかしてあれば、その方法はどのような効果があるか検証してみたらどうかと思いました。以上です。

#### 【発言者⑮】

上青井町の〇〇でございます。

私は生まれも育ちも九日町でございました。そして現在の上青井に住んで40年ほどになります。

山紫水明の人吉、そういった文句を代々聞いておりましたが、それも全く今では見られるものではありません。先ほど皆様方がおっしゃったように、いろんな、例えばその橋を壊したとか、そういうのになりますけれども、この大きな水害は351年振りに起こったと聞いております。

私は40年の水害のときには高校3年生でございました。現在の家はそのときの九日町に住んでおったときの1階の天井までの水位を計算して建てた家に住んでおりますが、上青井の私のところでも3メートル60センチの水位でございました。

子どものころから川にずっと親しみ、育ってきました。

市房ダムができてからは、まず遊ぶことが少なくなりました。というのが、魚類がまず下のダムもですけれども、だんだん少なくなってきたのと川が汚れて、水が腐って、水泳ぎに行くと「お前は臭か、はよう風呂入ってこい」とか、「行水してこい」とか、親からも言われるようになりました。

しかしそれが段々酷くなってきて、最近では特に、上青井、下青井、そこでも

国道交通省の出張所がありますが、そこからの下流は水が溜まります。

そうすると、その溜まった水にはぶくぶく泡がたって、海苔が生えたりヘドロ状のものがああります。それを国土交通省の出張所に行って、水を流してくれとお願いします。しかし、代々の所長さんのなかでもいい人と、よくない人がおられます。

水を通してくれる人は、もうすぐしていただけますが、全くしてくれない人もおられます。さらに私は釣りもしますので、船も持っております。すると鮎釣りとかそういうのが、よそにないようなことで、多くの方が来られて、彼らは道具も半端な金額じゃございません。竿1本でも最低でも20万はします。そういったものを使ってする人たちですから、人吉に来るとキャンプではなくて温泉旅館に泊まられます。そして、帰りには必ず奥さんたちに土産を買って帰るとい、そういう方々が多いです。

そういったなかに、ときには釣りをしてテグスが絡まって流れる方もおられます。そのときには見ておいたら助けに行きます。堤防の管理用道路がありまして、そこから見ておられます。階段があって助けに行かれます。ところがその階段を降りて行かれないように、扉をつけて鍵をつけてあります、現在。

そのときの所長は、観光をするために、球磨川下りのショートコースを発船場から、ちょうど青井神社の鳥居があるそこまでして、そこから上がってお参りしていただいて、街を観光していただければいいコースになりますねという話をしたら、そこに扉をつけたんです。そしてその観光をなくした。

そういういい場所もありながら生かされない。こういったことは市に言っても、市とまた県の管理とで許可というのはなかなか下りないと聞いております。それで、その国交省の方に、あなたは国土交通大臣の代弁者でしょう。それなら大臣に直接話をもっていかんとダメですねということで、その話をしたら、聞いた人が、「ほんなら」といってから、あれを出すとって転勤させたというような話を聞きました。

ですからこの母なる川と言われてきた球磨川を、これ以上水が減ることがあって、さっき言われた濁るとか、それとかもう本当臭いです。そういうふうになるのを川辺川で薄めてきたんです。ですから、川辺川にもしダムができたならば、恐らくさらに水量は減ると思います。

そうしたらこれまでの人吉が350年、それ以上前からあった、このいい土地柄も何もなくなっていくというふうに心配しております。

もう私も70を超えておりますので、この先いつまで生きるかわかりませんが、ぜひ子々孫々へ本当のこのいい球磨川を残していただいて、町をもっと繁栄させていただきたい。

私たちの町内では郵便局というのがありますけれども、その前の列の商店

の皆さん方は、いまでもまだコンパネを店に貼ったままで、11軒のうち2軒だけしか営業しておりません。されないんです。そこも2階で、高いところは1メートル以上皆さん浸かっておられて、それを修理するお金がないそうです。

調査に来た人が「預金があるでしょう。それでしてください。」と言われた方がおられるそうです。

それと、本当にもう少しどうにかなりませんかといったら、「あまり言われると判定が下がりますよ。」と言われたそうです。

床上浸水を床下浸水にさげるという意味でしょうか。こういう片寄った罹災判定があっているものかというふうに思っております。

ぜひ、県のほうでもそういったところは赤羽国土交通大臣が来られたときに、1メートル80に、もうちょっと足りないというところなんかは引き上げてあげなさいというような、そういうことを言われたそうですので、そういうふうにしてやってもいただきたい。しかし、人吉市では「それは知りません。ですから国、県の基準でやっております。」。2センチ足らなかつただけで、泣いておられる方もおります。4センチの方もおられる。そういう方々は全壊にはなりません。どうにか人吉の町を助けてやっていただきたいです。先に。そして皆さん方が生活ができるようになったところで、こういうダム問題のことを話して、人吉の町を作り上げていただきたいと思えます。以上でございます。

#### 【発言者⑯】

人吉駅前の町内会の中青井の〇〇と申します。

まず、知事をはじめ職員の皆さん、毎日毎日お疲れさんです。ご苦労様です。

うちの町内は、大体150軒ぐらいなんですが、もう全部浸かりました。今回で。

私もこの町内に住み始めて70年近くなるんですが、まず駅前が浸かるということは考えたこともありませんでした。

先ほど1番の上新の〇〇さんがおっしゃいましたけれども、ダムの問題なんです。私は〇〇さんがおっしゃったように穴開きダムで、普段は放流して、洪水のときだけ閉めるということで調整できれば、今度みたいな大災害にはならなかったと思っております。

県のほうでもぜひ検討いただきまして、できれば穴開きダムで、ダムに清流が流れてるということで、うちの町内の方もそう言ってる方が多いですから、どうぞその点よろしく願いいたします。以上です。

#### 【発言者⑰】

私、下青井町の〇〇といいます。今回の災害につきましては、私の考えでは、

ほとんど全戸が被災をされておりまして、住宅も現在445号線沿いは、ほとんど電気が点いておりません。そういうことで生活の復旧をされるのには、3か月、4か月、半年とかそれくらいの単位ではなくて、やはり2年、3年というふうにかかるのであらうと思っております。

お年寄りの方は、「もう私たちは帰りきらん」という方がおられますけれども、ぜひともまた帰ってきたいなという方もなかにはいらっしゃるわけです。

そういうことで210世帯くらいあるのですけれども、災害後は3分の1くらいになっております。仮設住宅とか団地、親戚のお家にほとんどの方が行っておられます。

そういうことで異常な生活をなかなか元に戻すということは、十分再建するには随分気持ちも力も張るのではないかなというふうに思っております。

それで私も要望書をもらいまして、ダムも見据えたところの河川の治水を、早期に、県のほうには策定していただければと思っております。

資料の5ページ、ダムがあった場合の、水量がたくさん出してもらっておりますけれども、非常にこれはびっくりしております。川辺川ダムがありますと、やはり60%ぐらいは冠水しなかったのではないかなというふうな報道もされておりましたので、そういうものかなと思いました。

それも含めて、安全で住みやすい地域で、皆さんが帰ってこられるような地域になるようにしていかなければならないのではないかなというふうに思っております。そういうふうなことにぜひ力を貸していただければと思えます。

それから掘削のことが、ずっと意見が出ておりましたけれども、球磨川の河床が、前からですけれども、堆砂の土砂で河道が浅くなって、少なくなっているというようなことがずっと言われておりました。

河床も、土砂の工事というのが大変難しい。ここで生態系やら土俗やらに憂慮しながら掘削をしなければならぬ。筋掘りとか、スライス掘削とか、壺掘りみたいな言い方があるようですけれども、そういうことで、ぜひ河川の荒廃を見ながら、掘削のほうを、治水治山もありますけれども、目的は別のことです。そういうことで治山のほうは、ある程度土砂が取れるのではないかなと思っております。

そういうことで、流量が大きく増えても被害が出ないような、治水の計画をぜひお願いしたいと思えます。今日は本当に知事さんはじめ執行部の方たち大変お疲れ様です。どうもお世話になります。

#### 【発言者⑱】

人吉消防団、第1分団の〇〇と申します。私が地域全体のことももちろん必要なのですけれども、被災者一人一人の復興といいますか、そういうのがまずは必

要じゃないのかなと思います。

ボランティアの方が来られて土砂は出されたけれども、業者が来ない。畳を全部出したまま、うちから離れたまま、待っている方が結構いらっしゃると思います。私も、一人暮らしの高齢者の方から話を聞くことができたのですけれども、業者の方が、市とかそういうところから紹介してもらって、見積もりとかはしてもらいなのですが、今年はできない、来年しかできない。それでは困るのでということで、ポストにいろんな業者のチラシが入ってるんです。そういうところに問い合わせしてみると、「できます」というけれども、市とかそういうところから紹介してもらった業者の3倍ぐらいの金額をいわれる。話にならない。そういったところが、一人一人の、一軒一軒の復旧がまだぜんぜん追い付いてないのではないかと思います。これから冬になって寒くなります。そういった状態で、衣服がない状態で冬を越さなきゃいけないということを、すごい心配されている。全部直さなくていいんだ。一部屋だけでもいいんだ。そういうのをちゃんと配慮してほしい。そういった意見を聴きましたので、先ほど言いましたように、地域全体、川とかダムとかも大切ですが、一人一人の被災者の復旧のほうの対応も、お金ももちろん大切ですが、そういった業者が来ないというのが一番困っているの、そういった地域も、多分ここら辺、人吉とか球磨人吉、八代とか芦北の業者とかもいるのですけれども、多分そこら辺は手一杯で追いつかないと思うのです。もっとこういった業者を取れるようにするための、支援金で対応できるかわからないのですけれども、そういった対応をしていただければと思います。以上です。

#### 【発言者⑱】

私は消防団やっております、紺屋町、鍛冶屋町、九日町、三町内を管轄しております。毎年梅雨前に、側溝などの清掃活動、三町内の依頼を受けましてやっております。しかしながら今年は、新型インフルエンザの影響を受けまして、こちらの溝掃除ができませんでした。

市道に関しましては、松岡市長の迅速な対応をしていただいて、バキューム車を出していただいて、側溝のほうの土砂の撤去していただきました。あと、県道のほうなのですけれども、445号線、表はきれいなのですが、結構大きな側溝がありまして、特に紺屋町のほうです。そちらのほうの土砂の撤去もお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

あと一つなのですが、今日いただいた資料の5ページなのですけれども、川辺川ダムが存在した場合に推定される水位とありますが、こちら見まして、納得した点あります。あと、一つまた不安になるのが、川辺川ダムが存在して、緊急放水したとき、また、市房ダムが緊急放流して、もし重なった場合、今回が最大水

量が来たとは考えられませんので、まだ降るかもしれません。そういった場合の水量のシミュレーションなどございましたら、ぜひ見たいと思います。こちら全部、軽減された場合のみの資料ですので、もし逆の場合のリスク等の資料があったらよいかと私は思いました。以上です。

【発言者⑳】

人吉消防団2分団の〇〇と申します。私のほうは3点ほどお伝えできればと思います。

治水に関してなのですけれども、さまざまなご意見が今出ておりますけれども、ダムのご意見が多いなか、ただ個人的にはダムがあることによって防げる被害もあるかと思っておりますけれども、やはり球磨川の水量が減るとというのが目的ではあるのですけれども、川なのに川の水量が減ると。川で育まれてきた人吉球磨であるのに、川の水量が減ってしまうと、それによってさまざまな観光とか地域の産業にも影響はするのではないかなと思っておりますので、ダムについての賛否ではないのですけれども、ダムについてはよくよく議論を重ねていただいて、治水というところをもっていければなというふうに考えております。

2点目が消防団の活動を通してなのですけれども、各インフラに関して、今回の水害で、私ども消防団防災無線等を持っておりますけれども、なかなかそれが通じずに、現実的には各個人の携帯電話での連絡しか取れないという状況がありました。携帯電話もつながらなくなったりとかございましたので、有識者会議の意見のなかでも出てはいたのですけれども、ローカル5Gなどの新たな取り組みというものを、今回の水害を機会にというわけではないのですけれども、そういう新たな枠組みとか取り組みとかも含めて、取り込んで推進していただければなというところが一点、インフラの部分ではございます。

それからもう一つが交通のインフラなのですけれども、私ども川南、川北と呼ぶのですけれども、球磨川から私ども川北に住んでおりまして、地図上でも川北のほうが被害が多い状況なのですけれども、防災拠点、この地域振興局含めて、新たにできるという市役所もお隣にできますけれども、全て川南にございます。人吉の市内でいいますと、九州電力さんとかそういったものも、全部水害地区に立っている。川北には大きな防災拠点がございませんので、ぜひ今後の道路の拡張も含めて、防災拠点等も考えて盛り込んでいただければと思っております。以上です。

【発言者㉑】

消防団2分団第1部の〇〇と申します。よろしく申し上げます。

まず、ダムのほうはかなり決まるまで時間がかかると思いますが、地域住民、

賛成派、反対派に分かれて、人間関係がおかしくなるのではないかなと少し心配しております。

また、温暖化、異常気象で、豪雨が発生する間隔は本当に短くなっているのではないかと思います。1年後、2年後、また来るかもしれません。それでしたら本当に早急にできる川底の掘削、川幅を広げるとか、下流のほうの川がくねくねしているところを、水の流れをよくするように、山で迂回するような川だったらトンネルを造ったりして、水の流れをよくするような、目に見えるようなところで、素早くやっていただきたいなと思います。以上です。

#### 【発言者⑳】

2分団3部の〇〇です。私はダムなど治水に関しては知識がありませんのでわかりませんが、お願いしたいのは被災された方々への支援、そして被害にあった土地など、水田などの早急な復旧をお願いしたいと思います。

#### 【発言者㉑】

P T Aの〇〇と申します。時間が押しておりますので短めにお話させていただきたいと思います。

まず厳しい言い方なんですけれども、川辺川ダム問題に対して、ここで聞くということに対して、少しこちら側に責任感が強いのかなとも思っております。今は、私が考えているのは、上青井の町内会の〇〇がおっしゃられたように、まずは生活基盤の整備を第一と考えてほしいと思っております。

一番はコロナ渦のなかでもありながら、被災している子どもたちが一番の隠れた被害者なのではないかなと思いますので、また被災したことにより、地域のコミュニティが崩壊しておりますので、できれば復興のプランのなかに、地域のコミュニティが必ず復活していくようなかたちの復興プランを入れていただければと思います。

また、もう一つは、いろんな方が被災されて、いろんな場所に行ってらっしゃるので、学校への送り迎えが保護者の方のとても負担になっているのです。そこでいろんなクラブチームもなのですけれども、バスが被災したりとか、全てが保護者の方で賄われているところの負担軽減について、少し何かお考えがあれば支援していただきたいなというふうにも思います。高校生のほうも、くま川鉄道というのはとても大事なインフラでありますので、そちらのほうの早期復旧のほうもお願いしたいと思います。

私たちが納得のいくようなプラン立てをしていただきまして、治水対策もすばらしいものが私たちにご説明いただけるものと期待しております。以上です。

【発言者⑭】

人吉西小で家庭教育部をしております〇〇です。よろしく申し上げます。私も治水に関してはそれほど知識がないものですから、ダムを造ったほうがいいのか悪いのかというのは、わかりません。ただ、できる対策は取ってほしいというのが正直なところではあります。私も被災しておりますので、まだ家も全部出来上がっている状態ではありません。在宅避難の状態です。

なので、また来年、再来年、もう一回同じような被害に遭ったときのことを考えると、ちょっと今のところにもう一回住んだほうがいいのか、正直考えるところでもあります。子どもたちも守りたいと思っていますので、次、被害に遭うのを想定したときに、このまま今の家に残っていていいんだろうかという不安は、正直あります。

近所のお母さんたちとのお話もするのですが、この先、子どもたちのためにと思って少しずつでも貯めていたお金を切り崩してでも、家の修復にお金を当てている状態なのです。これがまた来年、再来年、同じように被害に遭ったときに、また出費を考えると、とても生活が苦しくなっていくのが想定できるのです。なので、できるだけ被害に遭う確率を減らしてもらうためには、治水対策、取れる対策はいろんな角度から考えて、取っていただきたいなと思います。以上です。

【発言者⑮】

西小PTAの〇〇です。私からの意見は、人吉市に移って15年になります。その前は湯前に籍を置いておりました。僕が幼少時代、球磨川、まだ上球磨の球磨川を泳いでおりました。泳ぐ際、かなり球磨川が冷たかった。「なぜこんなに冷たいの」と祖父に言ったら「市房ダムがあるから」と言われて、全く子ども心にわからなかったです。水を溜めていると温かくなるのではないの。それをおのずと知識が入りまして、ダムの存在というのがわかるようになりました。

ところが、高校生ぐらいになってから球磨川の水がかなり温度が上がりました。そして、数十年前の渇水時期、市房ダムを皆さん見られたときがあったと思うのですが、かなりの泥が溜まっておりまして。噴水なんか泥の上に浮いておりました。こんな市房ダム、溜めるという目的だったのに何の役にも立っていないじゃないか。そしてこの近年の洪水、かなりの泥水です。これは先ほど〇〇さんだったでしょうか、山の管理というところ、今回の震災が人災とするならばこの点だけ。山の管理がなされていない。地表がむきだしになっているところから泥が流れ出ているのではないか。

昔の洪水のときにはどっと水が出て、数時間後には水が澄んでいたのです。今、そういうところではない。結局、山に関しても道、川にしても（聞き取れず）、

そんなところにコンクリートが入って、人の手が入ってしまったから、後のちの管理が進んでないので、そのあたりからの山崩れが起きているというところが、一番今回の被害を大きくしたところだと思っています。

ですから、ダム開発という前に、今あるダムをもう一回できるかぎり見直して、もっと利用できるように、そして球磨川が本当に浅くなったところを僕も一番悲しいところです。淵がなくなりまして、子どもを連れて行って泳げる川が、万江川なんかも全然なくなっている。このままだと田舎に住んでいるメリットがない。きれいな自然、川、本当に自然を守ってほしいところ。そのためにはまずは市房ダムのほうからどうにかやってほしい。以上です。

#### 【発言者⑳】

人吉東小学校PTAの〇〇と申します。

私からは、PTAのほうで活動しておりますので、子どもたちの命と未来を守るという視点から、まず治水に関してなのですけれども、皆さんおっしゃったように、すぐできること、例えば川床の掘削であったり住宅地のかさ上げであったり、それから治山です。そして市房ダムの現状とかも私は全然知りませんでしたので、そのあたりきちんと再調査をしていただいて、そのうえで今できることをまず取り組んでいただいたほうが、安心にもつながるのではないかと思います。命と財産を守るというのは本当に大事で、私も支援に携わっているのですけれども、被害に大小はありません。20センチ浸かろうが、1メートル浸かろうが、家具は全部捨てなくてはいけませんし、生活に必要なものは買い直さなくてはいけません。

子どもたちも、やはりそういう点で支援が足りてないというか、子どもたちのなかで分断が起きています。被害の大小による差別、区別というか、被害を受けている、受けていないということで扱いが違ったりということで、子どもたちの心も傷ついている部分があると思います。それに関しての支援が、受け皿が足りないというのをすごく感じています。

民間の方たちが頑張っていて、私たちもたくさんグループがあって、お互いに連絡を取り合っているのですけれども、民間の支援がすごくパワーになっているのはわかるのですが、そこからの意見やそこからの現状というのを吸い上げるような機関がない。市であったり県であったり本当にたくさんお仕事されていて大変だと思うのですけれども、そういう現状を吸い上げるような部分もほしいなど、今、感じております。

球磨川は私たちだけのものではなくて、未来に、子どもたちにつなげていくものなので、持続可能な変化できる対策というのを考えていただければうれしいなと思います。未来の子どもたちにも決定権を委ねるというのも、ひとつの私た

ちの決断ではないかなと思っております。以上です。

【発言者⑲】

本日は貴重な機会を設けていただき本当にありがとうございます。人吉東小PTAの〇〇と申します。

私は、生まれも人吉市の九日町で、球磨で育って、ずっとこの人吉市は大好きで、今は別の町内に住んでいますけれども、僕は昭和55年生まれで、市房ダムはできていて、向こうは球磨川だった。けれども、それが当たり前で暮らしていたんですけれども、今またこのような洪水が起きて、球磨川もこういうふうな状態になった。でも、今、してほしいと思っていることは、一人でも多くの人命を救える治水対策を早急にさせていただきたいなと思っております。私の家でも県知事が出られた報道を見る機会が多く、子どもたちも見ることが多くなっています。私が子どもに言い聞かせているのは、この会議は自分たちの娘たちが大きくなった後に、安心して暮らせる街のために皆さん一生懸命やっているんだよということを言い聞かせています。それが現実になるように、一人でも多くの人命を救える治水対策をお願いしたいと思っております。どうもありがとうございます。

【発言者⑳】

〇〇です。よろしく願いいたします。

私はもう少し復興のことを考えてきたのですが、水害が発生した後に、地元にながらも、コロナ禍と被災者の方々のプライベートへの配慮があって、なかなか積極的なボランティアのようなかかわりが躊躇されるような場面が多かったと思っております。

小学校の体育館も、今、まだ避難所になっておりますけれども、学習の場に皆さんの生活の場が入り込んだことで、また子どもたちに戸惑いが見られることもありました。人と人や団体のあいだに入って、つないでいく役割として、コミュニティの場の設置と人材の育成を望みます。

そこによければ学校を巻き込んで、セカンド・スクールとしての利用ができるように、コロナ禍による分散登校ですとか、学校と地域をつなぎ、インターネットを整えてオンライン授業やICTの活用、ひいてはモバイルワーク、ワーケーションの受け皿としてもできるような施設、そういったものが避難所とともにこれからの人吉のなかで必要になっていくのではないかなと思ってご提案いたします。

人吉球磨の子どもたちは、概ね高校を卒業したら地元から離れていきます。子どもたちがまたこのふるさとに戻ってきたいと思えるような、そういうふるさ

との像はどういうものかというのを、ぜひ子どもたちの意見も取り入れていただけたらありがたいなと思います。以上です。

【発言者⑳】

第一中学校を代表して参りました〇〇と申します。よろしく願いいたします。

今回の会議に出席するにあたりましていろんな保護者の方に、一応お話をお聞きいたしました。

まず、そのなかで気になったのは、被災した子どもたちのなかに、これが水害の影響か知りませんが、非常に暴力的になったりとか、家でひきこもったり非常に落ち込むような態度をとると。学校ではにこにこ笑っているのどうしてなのでしょう、というご意見をいただきました。

一応PTAのほうでカウンセリング等々の依頼をいたしまして、いろんなご協力をあおいでいるところでありますが、県においても、どうかその子どもたちのケア、そこら辺をもう少し取り組んでいただければなと思います。

それともう一つ、治水のことについて保護者の方とお話をいたしました。

とにかくこんな思いはしたくないし、子どもたちにはさせたくない。ということで、もし安心、安全が確保できることであれば、どのような対策でもいいから、一刻も早くやってもらいたいという意見が多数でありました。

短時間で、そして未来の子どもたちにあまり負担をかけない低予算でできる治水対策、そこら辺を期待をしております。どうか県知事をはじめ、被災流域の各市町村長さんにもリーダーシップを心から期待をして終わらせていただきます。以上です。

【発言者㉑】

〇〇と申します。

西校区社協といたしましては、コミュニティを主な仕事とさせていただいております。だけれども今回は、このコミュニティの拠点である支え合いセンターも被災いたしました。そして、私たちは子ども食堂を2年ちょっと前から始めまして、順調に来ていたのですが、コロナでできなくなったり、その拠点である東西コミセンも浸水しましたので、そこでもできなくなって、もう7月からはまったく活動ができなくなりました。けれども、やはり何かしないといけないかなということで、被災をしていない町内会長さんのところの公民館をお借りいたしまして、今度11月14日に再び子ども食堂をはじめたいと思います。

お弁当になりますけれども、会食ができないので、そうすると支え合いセンターのほうも浸水しましたが、お部屋は使えないから土間が広いものです

から、土間でテーブルも応急的に、電線の巻いたのをテーブルにいただいて、それでしてみようかと。とにかく皆さんと会ってお話しがしたいということで、皆さんバラバラなものですからお話しがしたい。子どもたちともやはりちょっと触れ合いたいということで、今度11月に開催いたします。

私、いつも頭に残っているのは、被災した当初、近所の若いご夫婦、家族がみんなボランティアで、家のゴミをずっと家具とか濡れたのを出してもらったのです。その若い夫婦が、「おばちゃん、みんなが被災したのだから、みんなが元気になるまで頑張らねばね」と、その子が言ったのです。本当にそれで元気もあって、いつもそれを頭に思っております。人吉の親戚のいところが電話してきて、「テレビで見てびっくりした。人吉の町は私は好きやもんね、よか町だもんね」と言ってくれたので、またその町がそんないわれるような町になってほしいと思っております。

#### 【発言者③】

私は城本町に住んでいます。ひかり幼稚園のすぐ裏でございすけれども、今度の水害では床上のおよそ40センチも水が上がってきました。大変でした。

次の2点を訴えたいと思います。

一点目は、先ほど、どなたかおっしゃいましたけれども、この城本というところは、今まで水が上がったことはない。私の妻が68歳ですけれども、一回も経験していない。昭和40年のときもそうです。作成した人吉市のハザードマップでも浸水しないと書いてある。白い色で。そこがなぜ上がったのか。さっき出ました東西コミセンは市の指定緊急避難場所なのです。そこが1メートル浸かっている。いっぱい土砂が入っていました。そんなところに逃げられるわけないです。そういうものを含めて、なぜ私が住んでいるところに水がやってきたのか。多くの地帯が周りも浸水していました。どういう経路できたのか、山田川が大氾濫しているわけです。私、いつも朝、夕、散歩してますけれども、土手のところに2倍のところに水が来ている。

(聞き取れず)のところも出口に木がつまって氾濫しました。だからそういうところのメカニズムです。御溝川というよく氾濫する、小さい川がありますけれども、その御溝川の排水システムとか、山田川のバックウォーターとか、そのあたりをもうちょっと一人一人から聞き取って、どこから水が来たのか、私は朝8時頃起きて見ていましたら、御溝川はたしかに氾濫してました。少しアスファルトまで来ていましたけれども、そっちの水はこなかったのです。私は山田川のパックウォーターからどつーと来たわけです。どんどん、どんどん。わずか10分、15分くらいでずっと上がってきました。そこら辺のなぜ排水がうまくいかなかったのか。もちろん球磨川の水位が上がったからでしょうけれども、そんなこ

とはわかっているわけです。そこらあたりは明らかにしてほしいと思っています。

2点目は治水に関する要望です。来年また雨が降るかもしれない。また今回と同じような雨が降った時に、10年先に完成しているかどうかわからないような川辺川ダムを、今この時期に優先させようとしている計画が新聞のなかでも出ていますけれども、なぜダムが今議論になっているのか。大体ダムを造って誰が潤うというのか。ダムを造って潤うというのは、中央の大きな建設会社だけです。そういうことを今議論するよりも、目の前のさっきから言ってきました河川の土砂を取り除くこと、地域住民の人の高台への移転とか、人吉の本当に目玉である旅館とか、鮎とか、地場産業とか、そういう復興を地元の力で、地元がたくさんお金を落としながら、やり上げる。これが大切ではないでしょうか。

そして、今スポーツパレスに被災した子どもたちの見守り隊というのをやっていますけれども、本当にたくさんの方が傷ついているわけです。先ほどから子どものことも出ましたけれども。冷たい弁当を毎日食べている女の子が、「ごはんおいしくない、ありがたいけれども温かいものが食べたい」という声をずっと聞いています。そういうたくさん傷ついた人の心のケアを今一番やるべきではないか。優先順位はぜひ知事さんに考えていただいて、ダムの問題よりも今、人吉市をどうするのか。旅館の復興とか、くま川鉄道の復興とか、こういうところが一番優先を置いてもらいたい。これが私の願いです。以上です。

#### 【発言者⑳】

こんにちは。よろしく願いいたします。

私は人吉市の七日町に住んでおりまして、美しい球磨川の前で過ごしております。

話は変わるのですがけれども、私は宮崎の出身でありまして、宮崎に西都市というところがありまして、一ツ瀬川があって、その上に上流に一ツ瀬ダムができております。

できて60年経ったと思うのですがけれども、今、60年後、下流の集落は限界集落になっておりまして、当時、旅館とかもあったのですがけれども、旅館は廃業しておりまして、お店もありましたけれどもお店もない、屋形船もない、もう何もかもがなくなって、2キロ先ぐらいに行かないとお店がないような集落になっております。

今、私、人吉に嫁いできまして、美しい球磨川を見ているのですがけれども、この球磨川が自分のふるさとみたいになってしまうのかなと思うと、とても寂しいのですがけれども、美しい川辺川と球磨川を未来に子どもたちに残してあげたいという一念で今日は参りました。以上です。

【発言者③】

〇〇と申します。球磨川と直接には関係ないのですが、二級河川、全長2,000メートルほどの小さい川、流れも小さくて静かな川なのですが、今回の震災により大変なことになりました。まず、県のほうで進められていますボックスカルバート工事、暗渠だと思えますけれども、その工事がなされています。我々はそこで生態系の問題だとか、本当にその形状じゃなきゃいけないのかなど、いろんなことを県のほうにもお伝えしましたが、全て無視されました。そのなかでずっと建設が起こっています。

非常に小さくて、今回、球磨川で起きたような狭窄の状態。球磨川のほうで、ウォーターバックというのか、全く同じことが起きました。このことは5、6年前からずっと言っていたのですが、なかなか受け入れていただけなかったという状況のなかでの被災です。

あとは、上流のほうからいいますと、よその県からの企業だと思うのですが、メガソーラーの開発です。私が住んでいるのは、西間上町なのですが、砂防指定地域ということで、指定されておる地域です。土砂とか林地の開発によって木とか伐採した枝とか、そういうものが河川に流れ込んだということです。上流から橋にひっかかったことによって、水が溢れたという状況です。

このことを県の森林保全課の方にいろいろお話を聞いたかったのでお話したのですが、県としてはいろいろ指導はしていたと。当然、林地開発の許可を出すにあたってのガイドラインだったり、そういうものをきちっと定めていただいているのだろうと僕は思っていましたけれども、全く対策はとられてなかったという部分がわかりました。

それで河川に流れ込んで、大量の木々が橋に引っかかったという状況になっています。

このことで治水を、皆さんお話をされていますけれども、とにかく今後の18ページに書かれているような、復旧・復興の3原則とかはあるとおもうのですが、そのことを推進していかれるにあたって、市の方々、こういう状況がおきましたから何か河川改修とか今後の考えをお聞かせくださいという話をいったんですけど、今回4億円を超えるような工事、費用等が予算として試算できないと国からの補助も受けれないということで、今、現状を見たときにそれだけの予算を組むのは難しいと、しばらくは、このままなんですねということが、恐らく言われています。

なので、私たちは本当に来年とかじゃなくて、明日とか、何かあってもどうすることもできない状況であるということをお伝えしたかったので、いろいろお考えいただければと思っていますので、よろしく願いいたします。

【発言者③4】

声が風邪声ですのでマスクをとらせて話させていただきます。

一つは十数年前に蒲島知事さんには、自然保護の観点からということで、現在の野鳥の姿は未来の人類の姿を表しているんだということで、川辺川にダムを建設し、あそこを一番大事な生活区としているクマタカを守る会として、全国の実自然保護協会から注目されながら発言したんですが、今は覚えていなくても、そのことがあったことはご存知じゃないかと思ってます。

今日は3分と聞いていたのに2分と聞いて、あんましゃべれんなと思って、何言いだすかわかりませんが、基本的には川辺川ダムは造るべきではないと。ダムありき、川辺川ダムありきで議論が進んでいこうとしていることに物申したいということで、今日は発言を求めた次第です。

このようにしてお聞きする会、たとえ2分といえどももっていただいたことは非常に感謝する次第ですが、一つは自治体の市町村長会は7月の我々がまだ生活がどうなるかわからんという苦しんでいる早々に、川辺川ダムありきということを中心にしたダム建設促進協議会というようなものを作り、そして国交省に申し出をするというようなところがまず問題であると。いくら選挙で選ばれた方々とはいえ、住民の命に関わることまで選挙で投票されて代表になったわけじゃないかということがまず言いたい。これが第一点。

第二点は、球磨川から直線で約300メートルの北側に住居を持っております。今回は床上1メートル80センチ、地面からは車庫で2メートル10センチ浸水を受けました。そして僕の家からもう少し北側に50メートルくらいに先ほど〇〇さんのほうからも意見を出された御溝川というのが流れております。実はここは今日は時間がないので残念ながらあまり語れませんが、この御溝川ともう少し下で合流する福川この問題を少々詳しく話したかったんですが、もうあまり時間ないです。実は〇〇さんがさっきいわれた、駅よりも少し上流のところ、御溝川は二つに分かれているんです。この分かれ際に、あの辺は堰があるんです。それを閉じると駅のほうにあまり流れない。その前にはここである程度のいろいろ浸水もあって僕は相談を受けたりしていたんです。今回はそれがあんまり流れてないというのを聞いてびっくりしたんです。よく聞いたら閉めてあって、ほとんど山田川に流れていっているんです。もう少し詳しく言うなら、駅のほうはずっと青井から上薩、相良、宝来、下薩、ずっと枝分かれして地面を潜ったりしながら人吉市内一円を廻って僕の家裏50メートルくらいのところにある御溝川がもうしばらく下にいったところで福川に合流します。

時間がないですからこのくらいにしますが、福川と御溝川がいずれも皆さん意外に知らないんですけれども一級河川です。この上流をずっと調べてみますと万江川につながっているんです。

僕は今回の私たちの家の近くもいろいろ聞きましたが、この福川と御溝川の合流からのバックウォーターがずっと押しよせて来ているんです。それを実際見ている人もおります。ここからずっと流れこんできましたのと同時に、球磨川のほうからももちろん、球磨川のすぐ側ですから、流れ込んだ2つの合流で一気に浸水してるんです。そこで最後に言いますが、人吉市内20名、本当に残念ながら亡くなられた方がいました。そのうちの4分の1の5名が、僕のうちから半径300メートルの円内の方々なんです。

いずれも僕がよく知った方です。もう毎年のようにいろいろと語り合っている方、それから僕は学校の教師をしていましたから、娘さんの担任をしたりした人も二世帯あります。そういう人たちの思いを考えたら、この広い人吉市内で5名の方がうちの半径300メートル以内で亡くなるというのは、何かあると。そこから辺はしっかり捉えていただいて、僕は川辺川とは関係がないのじゃないかと、川辺川にダムを作っただけではどうにもならない。今度の雨の降り方、流れの位置、そういったことを訴えて発言を終わります。

#### 【発言者③⑤】

私は駒井田町に住んでおります。なりわいとしまして音楽、あるいはアーティストの集まるイベントホールと、女性専用のホテルを経営しております。

まず最初に申し上げたいのは、今回ダムの問題というのがとりあげられておりますけれども、それ以前に私のところは2メートル10浸水いたしました。

熊本地震も大変な被害があったと思うんですが、この水害というのは、全てなくなりません。

変な話ですけれども、熊本地震の方も大変な被害を受けたのはよく知っているんですが、水害の場合は着るものから、テレビから、電気製品から、全部使えません。泥水に浸かりますから。変な話ですけれども、地震の場合は傾いて多少の何分間という大変な被害があって、インフラも遮断されて大変な生活をしなければならぬということなんですけれども、ある程度車も残るし、それから倒れたものも直せば使えらる、そういう点からすると泥水によって浸かった被害というのは大変なものです。身をもって痛感しております。駒井田地区ではほとんどが2メートル浸かっております。

それともう一つは今回コロナの関係がありまして、ボランティアさんも非常に少なく、本当にまだまだ泥がいっぱい残っている家屋あるいは商店街がたくさんあります。

ダムの問題を云々する以前に、ぜひ、そういうことをよく理解していただいて、復興の手助けをしていただきたいというのが、率直な今思っている心境でございます。

それと川辺川というのは日本で素晴らしい川なんです。清流です。何年間も保ってきている清流。それにダムを造るということは、それをなくすということです。今、世の中は環境破壊ということがよくいわれています。人類が自分の都合のいいように環境を破壊してしまったゆえに、こういう線状降水帯というような大雨が降るようになってきているわけです。

その上にそういうダムを造るということは逆行していると思います。環境破壊というのは、これは私の私見ですけれども、これからはいけない。環境とともに美しい自然とともに生きていくと、それで人吉のよさを残しながら復興していくというのが、今後のあり方だと思っております。

人吉は非常に全国、外国からも非常にお客さんが来ます。私ども女性専用ホテルをしておりますけれども、今でも中国や韓国の人から「大変ですね、復興したら必ず行きます。」こういうメールをいただいております。

このような美しい町を、ぜひ、以前のように、あるいはもっときれいな街にしてくださいように、せつかく蒲島知事さん来られておりますのでぜひお願いしたいと思います。

もう一点言わせていただきますと、先ほどからお話もありましたけれども、川底が非常に厚くなっています。泥がいっぱい溜まっています。これは毎日、私は山田川と人吉の球磨川の川べりを散歩しているんですけども、ものすごく泥があります。これはもう地域の皆さんもよくわかっています。

なぜ、蒲島知事がダムを止めたといわれて、その間これまで時間があつたにもかかわらず、それをひたすら川底を掘削していただければ今回の被害は大分少なかったと思います。

ぜひ、山田川と球磨川の接しているところ、あそこの地域をぜひ蒲島知事さんはじめ県の方が時間があればご覧になってください。非常に川底にたくさん泥とか石が堆積しております。ダムを造る予算があるんでしたら、ぜひそれをコツコツとやっていただければ、恐らく、来年のまた水害の時期にそれが効果があると思います。掘削をするということ。支流と球磨川の本流の接点、そこから水が出てきましたので、それはもう我々が生で見えていますので、ぜひそういうことをご理解していただきたいと思います。以上です。

#### 【発言者③⑥】

同じく駒井田の〇〇です。私の言いたいことは今主人が全部言ってくれましたのでたくさん申し上げませんが、私たちは100年後の子どもたちにこの美しい人吉を残すために、ダムは絶対望みません。まずは水の手橋の上流、それから下流のほうも本当にたくさん泥が溜まっています。それをまず掘削してください。

私は55年前の水害も体験していますが、あの時の4、5倍です。あの時は床上、膝ぐらいだったと思うんですが、今回は本当に天井まで来ました。

全てなくしてしまいました。本当に自然には私たちは立ち向かうことはできませんけれども、やはりこういう災害が起きたらとにかく早く避難をするということを心がけたいと思います。

それから今コロナの関係で県外からのボランティアがほとんど入っておりません。しかし今日驚いたことに、GOTOキャンペーンで東京からのボランティアの方が来てくださいました。それはPCR検査を受けてきましたとおっしゃっていました。

それで、そのPCR検査を受けてくるために、例えば人吉市とか県がそのお金を出してあげたら、もっとボランティアの人が来られるんじゃないでしょうか。

もう未だに本当に生活を余儀なくされている方がたくさんいらっしゃいます。それをなんとかお願いいたします。以上です。

#### 【発言者③7】

僕は30代、40代の子育てをしている被災者の立場の意見として聞いていただければ幸いです。

私の自宅は床上2メートル20、芦北の職場も1メートル10、今でも毎日泥だらけの家の中で生活しております。

今回の水害で何百万、何千万の借金もしました。元々のローンに加えてリフォームのローン、車のローン、二重三重でとても大変です。そうした方々がいらっしゃるのが現実です。

それでも我々は、球磨川の側で子育てをして川とともに暮らしていくと決めています。もちろん国とか県とか市にはなるべく迷惑かけないように自己責任で保険を見直したり、自宅にライフジャケットを置いたり、あと防災マップを見たり、災害のルート、家族で防災意識を高めて毎日を暮しております。

そんななかでニュースや新聞を見ていると、被災者はダム建設を異口同音望んでいるとか知事に話されているのを見ました。

異口同音ではないんじゃないかなとすごく不安になって今日来ましたところ、そうではないんだなと僕だけじゃないんだなと思って安心しています。

またある人は、2008年知事がダムを白紙撤回したことで、こんなことを言っています。「リーダーたるもの、民意に反してでも正しいダムを造るべきだ。もっとあのときダムを造るように言うべきだった。」という記事を見ました。びっくりしました。民主主義に反する意見だなと思ってすごく不安になって、今日来ました。

我々は美しい球磨川とともに生きるために人吉に住んでいます。既に川辺で

は家族が引っ越しをしたり、市街を出たりしています。

先ほどもありました穴あきダムのことなんですけれども、僕もちょっと穴あきダムかなと思っていろいろ勉強しましたところ、やはり穴が開いている分、耐震性が弱って決壊しやすい。また穴に流木が詰まらないようにフィルターをかけると、そこにもまた木々が流木が詰まって、余計に水が詰まったり泥が溜まったり、どこかの県では穴あきダムをすぐに埋めてしまったとかいう情報も聞きましたので、穴あきダムは心配だなと思います。

我々が望むのは耐久年数が100年程度の何万トンのコンクリートよりも、子どもや孫たちを永遠に守ってくれる何万トンの災害防備林、木です。木を植えてほしいと知事に望んでいます。

過去にダムについて市民や家族が分断して、農業漁業を分断して熊本県民が分断した経緯を勉強いたしまして、知事もおっしゃったように、我々もそうはなっていないとずっと思っております。

我々は美しい球磨川とともに生きていきたいと思っておりますし、自然には絶対勝てないと思っております。SDGsのうたわれる昨今、ダムによらない治水を最上位版をぜひ知事にご検討いただければと思っております。

全世界に誇れる熊本県になれば、僕は胸を張ってダムに頼らなかった熊本県民と言えらると思っております。

今日は僕たちのような弱い被災者が直接知事に話せる機会をいただいて、本当に感謝しております。以上です。ありがとうございました。

#### 【発言者⑳】

私は昭和40年7月の水害のときは床上浸水を経験しております。今日はそこからあたり、それから今度の大規模な水害を見たところで、意見を発表させていただきたいなというふうに思っております。

皆さんご存知のように、人吉・球磨は盆地、九州山地に囲まれた盆地にあります。そのなかで今回のような集中豪雨あたりがきますと、球磨川本川はもとより、特に川辺川の流量が多くなる傾向があるんじゃないかなと資料でみております。

そこで私はハード面で今後、復興復旧、基本が球磨川の治水計画ですか、流域治水、最近巷間いわれておりますが、これはもちろんのこと取り組んでいただきたい。築堤工事をはじめ、遊水地、それから先ほどから河床掘削をいっておられますが、河床掘削はもちろんのこと、そこで特に五木の村民の方には若干迷惑をかけますけれども、川辺川ダムに、私は流水型のダム、もう既に川辺川ダムの用地取得はほぼ済んでおります。計画を早急に進めるべきというふうに思います。

またそのほか、本川の市房ダムのかさ上げ工事、これも進めていただくと非常

に人吉、球磨村、八代あたりの水害の低減になるというふうに私は考えます。

それも先だって京都大学の学生の人たちが検証したのを新聞記事で読みました。そしてそれを九州大学の先生が、理論的にはほぼ合致しているんじゃないかというふうな新聞記事を読んだところです。

100%水害を止めることはないと思いますけれども、40%なり30%なり低減するというふうな効果はあるんじゃないかというふうに私は思います。

それから、今後の人吉町のまちづくりについてですけれども、浸水した地域を元より今後町を中心に計画を立てられるというふうに思いますけれども、大々的なかさ上げ工事あたりが、進んでいるんじゃないかなと、これはもちろん住民の方の協力がいるのかなというふうに思います。

そこで熊本県なり国の絶大なるご支援をいただきたいなというふうに思っています、以上意見を述べたいと思います。終わります。

#### 【発言者③⑨】

10月20日の日に県庁で意見をちょっと述べさせていただきましたけれども、非常に短い時間でして、それで今日、こういう場があるということで、その残りを知事にお話したいと思ってきました。

前回、人吉で亡くなられた20名の方の話について、もし川辺川ダムが存在した場合に20名の方は救われたのかどうかということ独自に検証した結果をお話ししました。

もし川辺川ダムが存在していても、今回の豪雨で多くの方は命を救われなかったのではないかという話をしました。今日、その残りの話をします。

お亡くなりになられた20名のうちの14名、70%の方は避難の途中で亡くなられた。もし避難準備とか避難場所、避難経路これらのことが事前にもっとよく整備されておれば、もしかしたらこの方たちの命は救われたのではないか。ソフト面の抜本的な対策ということが一番大事ではないか。それが命を守る最大のことでないか。そういうふうに考えます。

それから、災害に遭われた場所とどこからどのような水が来たのかは検証が可能ですので、実際にもしできるのならば、県の方と住民と一緒にあって、亡くなられた原因というんですか、どこから水が来たのか、球磨川の水なのか、川辺川ダムがあったら大丈夫だったのかということはぜひ一緒にやっていきたいなと思っています。

もう一点、今回、どなたかもおっしゃいましたけれども、ダムのメリットだけが強調されている。シミュレーションが洪水だけが紹介されてます。でも、同時にもし県民のダムによる賛否というのはデメリットを示して然る後に、県民の民意を問うのが本当だと思います。

同時放流の危険だとか緊急放流の危険、堆砂によるダム寿命、流域の自然、自然環境、社会環境を破壊するこういうことをまず、住民に知らせたのちに、住民の民意を問うということが大事なのではないかと思えます。以上です。

【発言者④⑩】

私は大工町通りで〇〇を開業しております。〇〇と申します。

私のところも床上約1メートルの被害ありました。

まず第一に人吉のことを心配している人たちのために「人吉はまだまだ元気です。まだ大丈夫ばい。ぎゃんぎゃんすれば、この球磨川も生かせるばい。」ということをまず、発信されることが大事かなと。やはり皆さん心配しています。いろんなことを聞かれます。

したがって、ぎゃんぎゃんすればこの人吉の観光は回復する。この町はしっかりなる。鉄道も回復するということをぜひ判断して、ある時間、ある時期、あるタイミングでしっかり発言してください。そうするとみんなついてきますし喜びます。ということをお願いいたします。

そして、今ダムの問題等々、治水の問題等々のことがありますが、その費用、予算をぜひ流域の町の復活にまずまわしていただく。できれば、人吉市役所の予算もそれにまわしていただくということができればと思っています。

一番大事なことのもう一つは、自然、球磨川と共生して、これを次の世代に伝える。そのための覚悟と私どもの心構えをまず外に発信されることが大事かなと思っています。

ぜひ方針を立てていただいて、そのために私どもの意見を吸い上げていただいて、きちんと発信することが大事かなと思っています。

まず治水よりも私どもの生活・教育・産業のほうが大切、よろしく願いいたします。

【発言者④⑪】

突然に申し込みました。我が家は下林町で6メートル弱の水害で6時間ほど屋根の上で救助を待って助け出された次第です。

この資料の1ページ、一番左の40年7月、この真ん中のところが川辺川だと思んですが、この時の水害はダムの放流による水害だと人吉の人たちはほとんど話しているんですが、その時の雨量の計算と57年の水害のときの雨量、57年と今年の7月の雨量の計算、7月の半ばだったですか、京都大学でダムがあったら60%削減できたという話をされてたと思うんですが、その水色の濃い所が、雨量が多ければ川辺川ダムがあったとしても、この地図上でいけば、二股のところから5ミリほど下がったところに川辺川ダムが建設予定になっていま

す。

それと比較すると57年のときの水量、降水量と極端な降水量の差は出てないんです。それを60%削減する。結局は水上とかあさぎりとそこら辺で降った流量の水色の量からすると、半分以下のはずです。それを60%川辺川ダムがあった場合に削減できたという根拠が見えない。そこら辺を知事は考慮してもらわないと、ダム建設に対しての話が進んでしまうような気がするんです。

それから昭和57年の7月の洪水を2ページのほうでいけば川辺川って書いてありますね。五木村とこれは川辺川の右上のほうに延びているところは八代郡のほうに入ると思うんですが、ここの広さから計算しても錦、あさぎり、多良木、湯前、水上ここら辺の降水量を上まわるような降水量にはなっていないはずで、それで60%の降水量を削減できたという根拠が、私は全然見えないのですが、そこら辺を知事たちはどういうふうと考えられますか。

建設省が作られた球磨川の堤防、この堤防に関してずっと渡まで出来ています。だけれども、この堤防に異論があるのが、先ほど福川という名前が出ました。その福川の堤防と球磨川の堤防の高さが違うんです。福川のほうが低いんです。カルチャーパレス横からずっと曲がっている川なんです、球磨川の堤防よりも低い堤防であれば、球磨川が増水したらそこから当然、下流に流れるんです。そうすると頭無川は一級河川、福川も一級河川ですけども、その下にある頭無川も一級河川です。そこは内水排除の施設があるんですが、内水排除の施設そのものが堤防よりも5メートルほど低いところに設置されている。

これは県か国かわかりませんが、低いところに内水排除の施設あること自体がおかしく思いませんか。

球磨川が増水したら球磨川の堤防以下の増水でもその内水排除の施設が浸水してしまう。そういうところに作ってあること自体が不思議でたまりません。

だから球磨川に対する堤防に合わせた河川の堤防、山田川にしてもそうです。球磨川の堤防と山田川の高いところに登ったところの堤防は低いはず。

一番低いところを水は超えて登ってくる。だから当然先ほどのバックウォーターとかいう話がありました。今回は完全に球磨川の堤防超えていますから、それ以上の水害には間違いありません。

だけれども先ほどいった57年のときの水量と今年の水量と比較したときに、60%削減できたという根拠がどうしても私にはつながってこないの、その辺のほう考えた上でダムの建設なりを考えてほしいと思います。

#### 【発言者④】

私も今回の国の検証というのがどうも疑問だらけです。

実際の7月4日というのが、皆さんご存知のように何度も市房ダムからの緊

急放流という告知が何度もありました。一時間おきぐらいに。もちろん市房ダムというのが、多目的ダムであり、治水だけではないダムであるわけですが、もし仮に川辺川ダムが建設されたとしたしまして、昨今のこの異常気象でこれ以上の雨量が計測された場合に市房ダム、そしてさらに川辺川ダムの緊急放流というようなことになると、まさしく甚大な被害を生むのではないかと考えております。

ですから、球磨川の治水、あるいは、川辺川の治水というような考えではなく、流域治水という川辺川に流れ込む、あるいは球磨川に流れ込む支流の治水を含めた全体的な流域治水というのをぜひ、九州大学の島谷先生が提案されておられますように、球磨川に流れる水量あるいは川辺川に流れる水量を遅らせる、ピークを遅らせる、そういうような治水をぜひ考えていただきたい。

長野県におきましては信濃川の治水を農業用のため池を利用して、500か所の農業用ため池を利用して治水を、そういう政策をとっております。

同じように球磨川におきましてもあるいは川辺川におきましても、そのような農業用の水田に水を流す。そして、そこで被害を受けた分は国や県のほうで補償している。それが一番お金もかからず、一番安価な、そして誰もが安心できる治水対策になるのではないかと考えております。

もう一つ、もし川辺川ダムの建設ということであればぜひ、住民投票というものをぜひ検討していただきたいと思っております。以上です。

(以 上)